

薬の正しい飲み方



お薬は正しく飲めていますか。エンゼルを利用する保護者の方から、「お薬をうまく飲ませることができず、困っています…」とうかがうことがよくあります。嫌がるお子さんに飲ませるのは、お子さんにとってはもちろんですが、保護者の方にとっても大変ですよね。今回の「すくすく」では、お薬を使用するうえでの、やるということ、ダメなことをお伝えしたいと思います。



× これ、絶対にやってはいけません ×



- ① 前と同じ症状が出た！前回のお薬が残っているし、それを飲ませよう。
- ② お兄ちゃんと同じ症状が出た！同じ薬を使おう。
- ③ 朝分を飲ませ忘れた！お昼に一気に2回分飲めばいいかな。



薬にも使用期限がありますし、体重に適した量も決められています。自己判断で薬を使うのはやめましょう。薬は血中に吸収され、血中濃度が一定以上になると効果は現れます。必要量より多くても、少なくてもいけません。症状が出た時には早めに受診し、薬の効果を最大限に引き出すよう、決められた量や回数、飲み方をきちんと守って早期回復を目指しましょう。薬を処方された時には、内服終了のタイミングも医師に確認しておくといいですね。薬によっては、急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出ることもあるので、注意が必要です。

粉薬を溶かす水の量は少なめに

ティースプーン1～2杯くらいで良いです。
多すぎると、飲みきれなくなってしまうです。

飲む直前に準備

作り置きをすると、薬の苦みが強くなったり、薬の効果が弱まることがあります。

スポイトは内側に

口のわきから頬の内側に流し込むと味を感じにくく、飲み込みやすいです。

お薬を飲むときの
ポイントです



エンゼルでは指示書に記載されていない薬をお預かりすることはできません。「前に処方した解熱剤を使用して良い」と医師から言われた場合は、処方日を確認したうえで、その旨も主治医指示書に記載してもらってからご持参ください。

